

# 柔道の部

1. 種 目 (1) 団体戦・1日目 (2) 個人戦・2日目

2. 参 加

(1) ①団体戦のチームは、1校単位で編成したチームとする。

②男子チームの人員は、監督1名・コーチ1名・選手7名以内とする。

③女子チームの人員は、監督1名・コーチ1名・選手4名以内とする。

(2) 個人戦は、男子8階級、女子8階級とし、体重区分は次の通りとする。

①男子 50kg級 (50kg以下) 55kg級 (50kg超～55kg以下)

60kg級 (55kg超～60kg以下) 66kg級 (60kg超～66kg以下)

73kg級 (66kg超～73kg以下) 81kg級 (73kg超～81kg以下)

90kg級 (81kg超～90kg以下) 90kg超級 (90kg超)

②女子 40kg級 (40kg以下) 44kg級 (40kg超～44kg以下)

48kg級 (44kg超～48kg以下) 52kg級 (48kg超～52kg以下)

57kg級 (52kg超～57kg以下) 63kg級 (57kg超～63kg以下)

70kg級 (63kg超～70kg以下) 70kg超級 (70kg超)

3. 競技方法

(1) 団体戦

①男女とも、トーナメント方式を行う。

②男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。

③チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。

※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。

④試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。

⑤勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差2以上)」とする。

⑥優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」＝「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」

⑦トーナメント方式の順位は、次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち数による。

イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。

ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

⑧代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦の個々の試合と同様とするが、3分間の本戦で得点差がなく、「指導」差1以内の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。ゴールデンスコアでは、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点で試合を終了する。

(2) 個人戦

①男女とも各階級によるトーナメント方式で行う。

②試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。

③勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「僅差(指導差2)」とする。得点差が無く、「指導」差1以内の場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。ゴールデンスコアでは、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点で試合を終了する。

#### 4. 競技規則

- (1) 「国際柔道連盟試合審判規定（2018年～2020年）」（2022年4月1日より施行の改正ルール）および国内における「少年大会特別規定」（2022年1月24日版）による。
- (2) 柔道衣は白色とし、女子の黒帯は白線の入っていない帯とする。
- (3) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
- (4) その他は審判員および参加代表者と話し合って決める。
- (5) 監督・コーチは、審判員に準じた服装をすること。  
※大会運営上支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場させることもある。

#### 5. 計量・柔道衣点検 計量及び柔道衣点検は、下記の方法にて行う。

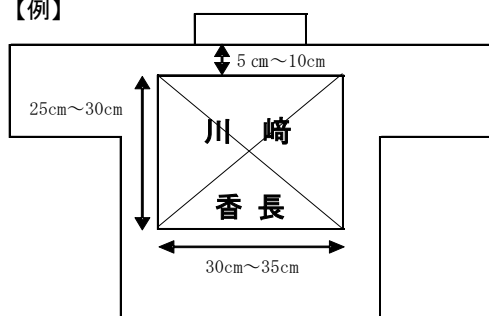
##### (1) 【計 量】

- ① 体重測定は1日目の朝、団体・個人とも行う。事情により1日目に測定できない者は、2日目の朝に測定をする。その場合は、事前に連絡をすること。
- ② 団体戦は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。（選手は全員同じ服装とする）
- ③ 個人戦は指定された時間内であれば、何回でも計測できるが、時間内に定められた階級の体重区分内にない者は失格とする。
- ④ 公式計量の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。  
なお、下着の着用は認めるが、包帯サポーター等の着用は一切認めない。  
※別室計量が必要な者はあらかじめ申し出ること。

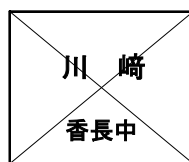
##### (2) 【柔道衣点検】

- ① 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。
- ② 柔道衣に必ずゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
  - ア 布地は白（晒、太綾）
  - イ サイズは横30cm～35cm、縦25cm～30cm
  - ウ 名字（姓）は上側2/3、学校名は、下側1/3
  - エ 書体は太字ゴシック体とする。（明朝または楷書でもよい） 男子は黒色、女子は濃い赤色。
  - オ 縫いつけ場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫いつける。
- ③ 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。 ※Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規程（平成25年4月1日より施行）に準ずる。
- ④ 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
- ⑤ 胸マーキング等について、道場名等は不可とする。

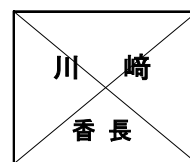
##### 【例】



##### 【例1】



##### 【例2】



☆ 学校名の ○ ○ 虫 はなくてよい。

#### 6. 四国大会出場資格

- (1) 団体戦は、男女とも優勝・準優勝チームが四国大会に出場する。
- (2) 個人戦は、男女とも各階級の上位4名が四国大会に出場する。

#### 7. 全国大会出場資格

- (1) 団体戦は、男女とも優勝チームが全国大会に出場する。
- (2) 個人戦は、男女とも各階級の優勝者が全国大会に出場する。

## 8. 参加資格

- (1) 6ヶ月以上の柔道経験があること。受け身や技の攻防が試合で十分にできると指導者が判断していること。

※ただし、1年生においては少年柔道(小学校)経験者で、十分試合ができると判断される者とする。

- (2) 県内の中学校に在籍する中学生、及び、競技団体への登録かつ高知県中学校体育連盟に登録し、認められた地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)に所属する中学生とする。当該学校長、及び、地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の責任者の責任において出場させる。